

も り 銀の森林通信

～ 大田市森林組合 広報誌 ～

平成27年8月

第70号

内容紹介

- 組合長挨拶
- 平成27年度通常総代会
- 経営計画進捗状況
- 「森づくり推進室」新設・「ゼロ災川柳」
- 森林組合あれやこれや
- 森林組合が誇る特殊伐採
- 大田市林友会活動記
- 森林保険のお知らせ
- つくってあそぼう木工館
- 森風会より「林業祭」開催

ヒント

かつては石見と出雲の国境で、
戦国時代は山城があった山

今年も懲りずにやります！
「表紙の山」シリーズ第5弾！

なんという山かご存知ですか…？

応募方法 山の名前を記入してご応募ください。（応募者多数の場合）抽選で記念品を差し上げます。

①山の名前 ②ご氏名 ③組合員番号（宛名の下にある6桁の番号）の3点を記載して、
ハガキ・ファクシミリ（0854-82-8013）・メール（mail@oda-fc.com）にて送付ください。

注）締切は9月30日です。なお、電話によるご応募は受け付けておりませんのでご注意ください。



組合員の皆様には、平素より大田市森林組合の諸活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

大田市森林組合は、当面の方針として、成熟してきた人工林資源の保育と有効活用を図るため、所有者の皆様のご理解とご協力をいただきながら造林地の集約化を進め、効率的な路網の整備と利用間伐による材の搬出を進めています。

一方では、鳥根県の提唱する「伐つて、使つて、植えて、育てる」循環型林業の実現等、将来を見通した取り組みも重要な課題と位置付けています。

大田市では平成27年度から、鳥根県及び大田市森林組合からの派遣職員を加えた陣容で産業振興部内に「森づくり推進室」を設置し、大田地域での森林・林業・木材産業の将来ビジョンを策定されようとしています。森林組合も関係業界の皆様とともに全面的にこの作業に協力し、森林資源の健全な育成・利用と活力

ある林業・木材産業の確立、雇用の場の創出に寄与することにより、環境保全と両立する持続可能な地域の実現を目指したいと考えています。

また、この内容が今年度策定される「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」へと反映され、確実に前進することも併せて期待しているところでです。

木材価格の長期低迷で厳しい経済環境下にある林業界ですが、県内2箇所での木質バイオマス発電所の本格稼働や、木造高層住宅を可能にするCLTの実用化、また東京オリンピック・パラリンピック施設での木材使用方針、二酸化炭素吸収源としての森林の評価の定着など総体的には追い風が吹いています。

こうした情報を的確に把握し、状況変化に対応できる組織体制の整備や技術革新に努めていきたいと考えています。

組合員の皆様の引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

平成27年度

通常総代会開催

提出議案承認決定

5月28日サンレディー大田において、平成27年度大田市森林組合通常総代会を開催しました。



竹腰大田市長

竹腰大田市長様をはじめ多数のご来賓の列席を賜り、総代223名（内、書面議決90名 代理人1人）の出席を得て、議長に鳥井町 木村 昌晴氏を選任して議事に入り、提出した議案はいずれも原案どおり可決承認されました。



永年勤続職員表彰



総代会の席上において、大田市森林組合職員表彰規定に基づき永年勤続者に対し、表彰状と記念品を贈り、永年にわたる労をねぎらいました。おめでとうございました。

勤続二十年表彰（右から2人目）

三瓶木工館支配人

寺 本 辰 男（三瓶町）

勤続十年表彰（写真右より）

現業職員

幸 村 善 治（大田町）

松 村 慶 起（五十猛町）

幸 村 定（富山町）

平成27年度 通常総代会

I. 貸借対照表

(平成27年3月31日現在) (単位: 円)

資産の部	金額	負債・純資産の部	金額
現金・預金	79,639,916	買掛金	2,718,606
受取手形	0	未払金	49,436,807
売掛金	3,227,900	未払法人税等	1,469,865
棚卸資産	2,890,888	賞与引当金	7,207,613
前払費用	140,109	前受金	54,000
未収金	229,701,196	預り金	3,590,026
立替金	659,800	受託販売預り金	15,054,518
仮払金	0	未払消費税	2,477,949
長期預け金	675	流動負債計	82,009,384
流動資産計	316,260,484	長期借入金	3,470,000
減価償却資産	27,118,174	退職給付引当金	24,545,753
土地	34,458,102	農林漁業資金借入金	2,464,658
森林	17,460,926	固定負債計	30,480,411
電話加入権	80,300	負債合計	112,489,795
系統出資金	15,880,000	出資金	110,530,200
系統外出資金	1,357,250	法定準備金	49,067,732
農林漁業資金貸付金	2,447,504	任意積立金	112,853,452
リサイクル預託金	90,540	当期末処分剰余金	25,572,595
固定資産計	98,892,796	資本準備金	4,639,506
		純資産合計	302,663,485
合計	415,153,280	合計	415,153,280

(部門別損益計算書)

(単位: 円)

部門	収益	費用	損益
指導	2,100	681,334	-679,234
販売	21,468,787	11,635,300	9,833,487
森林整備	508,756,512	422,702,922	86,053,590
森林整備 利用	329,724,990	288,334,986	41,390,004
林地供給	166,797,113	124,269,844	42,527,269
福利厚生	328,848	0	328,848
購買(事業物資)	0	0	0
購買(生活物資)	11,706,683	9,930,182	1,776,501
金融	46,400	38,542	7,858
	152,478	129,368	23,110
合計	530,227,399	435,019,556	95,207,843

II. 損益計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位: 円)

科目	金額
事業収益	530,227,399
事業費用	435,019,556
事業総利益	95,207,843
事業管理費	79,370,083
事業利益	15,837,760
事業外収益	4,017,725
事業外費用	570,868
事業外損益	3,446,857
経常利益	19,284,617
特別利益	2,341,399
特別損失	347,808
特別損益	1,993,591
税引前当期純利益	21,278,208
法人税、住民税及び事業税額	328,500
当期剰余金	20,949,708
前期繰越剰余金	4,622,887
当期末処分剰余金	25,572,595

III. 平成26年度剰余金処分について

1. 当期末処分剰余金	(単位: 円)
前期繰越剰余金	4,622,887
当期剰余金	20,949,708
合計	25,572,595
2. 剰余金処分額	
法定準備金	6,000,000
任意積立金(損失補填積立金)	11,000,000
合計	17,000,000
3. 次期繰越剰余金	8,572,595

※次期繰越剰余金のうち教育情報資金は、450,000円である。

平成26年度は、持続的な森林経営の確立を図るため、ソフト部門としては森林経営計画の作成や集約化促進のための森林所有者情報の整備・普及啓発活動を積極的に実施しました。また、ハード部門としては、循環型林業の構築や木材利用の促進を図るために、路網の整備、高性能林業機械の効率の活用により、事業コストの削減や安定的な木材生産を行うことを優先課題として取り組みました。併せて目標達成の為に人材育成が不可欠であり、これについても積極的に取り組みました。

事業量では、路網開設距離については前年度の倍以上の計画にもかかわらず計画を上回ることでありますが、利用間伐については、路網開設への重点的労務投入により、面積、木材生産量ともに当初計画比で減となりました。また新植については計画を上回る結果となりました。

その結果、事業総損益では、9520万8千円(計画比+11338万円)、事業利益で1583万8千円(計画比+480万8千円)、税引前当期純利益で2127万8千円(計画比+544万8千円)となりました。

平成26年度 事業報告
事業活動の概況(抜粋)

平成27年度 事業計画
運営の基本方針(抜粋)

伐って、使って、植えて、育てる循環型林業の実現に向けて、施業の集約化や路網整備などを一層推進し、森林経営計画の実行に向けた取り組みを行います。

高性能林業機械の効率運用により、さらなる低コスト林業を進め、主伐・間伐などと合わせ、木材生産5450mを目標に掲げ、国産材の利用拡大に努めます。また、林地残材として残っていた未利用材をバイオマス発電用として出荷し森林資源の有効利用に努めます。

造林事業等の事業管理、工程管理、品質管理等を徹底し工期完了に努めます。

公的機関利用については、国、島根県、大田市が発注される森林整備事業等への入札参加、また地域の森林造成に寄与するため森林総合研究所、林業公社等と連携を図り、事業を実施する予定であります。

また、本年度より大田市において創設された「森づくり推進室」と連携をとり、今後の地域における森林管理方法、木材利用について協議を致します。

森林経営計画について

森林組合からのお知らせ ～ご存知でしたか？～

森林経営計画が認定されていると…

① **所得税（山林所得に係る特例等）** や相続税など税制上の特例措置を受けることができます。

② **造林関係補助事業の支援対象となります。**

（下刈や枝打・間伐といった事業をされる際には、経営計画対象地なら補助金を受けることができます。）

と言った支援措置が受けられます。

まだ、森林経営委託契約書を交わされていない方は、ご返送して頂ければと思います。

Q

- そう言えば…森林経営委託契約書は送ったのに、その後何の音沙汰もない！
- 自分の山林は、森林経営計画に入っているの？

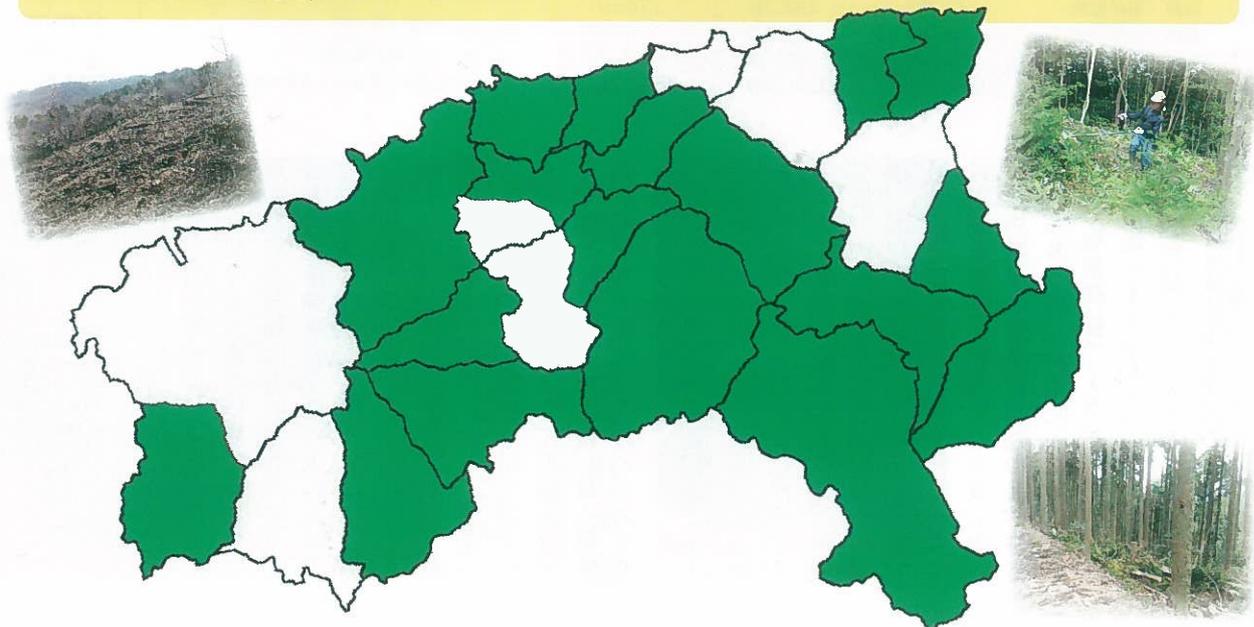
A

平成26年度末までに、15箇所（5,217ha）の森林経営計画を樹立いたしました。

（平成27年度 通常総代会資料より）

樹立状況は下の地図の通りです。

（森林経営委託契約書を締結 [返送] していただいているところは、森林経営計画の中に含まれています。）



未だ森林経営計画ができていない地区があります。

※計画ができていない地区

富山町（神原・山中）、久手町、鳥井町、大屋町（大国）、久利町（佐摩・市原・戸蔵）、大代町、温泉津町（湯里・温泉津・小浜・今浦・吉浦・福光・上村・西田・飯原・荻村）

まだ森林経営計画が出来ていない地区については、早急に森林経営計画を作成しますので、今しばらくお待ちください。

また、契約書がまだ手元にあっても、返送して頂ければ森林経営計画に含めることができます。

「契約書は送ったけれど自分の山林は森林経営計画に入っているのか」、「まだ契約書を返送してなかった等」、何かございましたらお気軽にご相談ください。

「森づくり推進室」新設

大田市産業振興部に「森づくり推進室」新設

今年4月より大田市に『森づくり推進室』が新設されました。そこで、室長で技監の山内寛之氏に今後の抱負を語っていただきました。

久手町出身の山内です。県の林業技術職として採用され約30年間、森林・林業・木材産業の振興に携わって来ました。

4月から、ふるさと大田市で、これまでの業務を活かせる機会をいただけたことに感謝するとともに、職責の重さに身が引き締まる思いです。

大学の卒業論文を「三瓶山」に関する内容で書くことと決め、先輩である皆田組合長(当時市役所)のもとを尋ね、協力をお願いしたのが30数年前とは…。

時のたつのは早いものだと、一人感慨深く物思いにふけてしまいました。

故郷とはありがたいもので、市役所に着任後すぐ、同級生が顔を見せに来てくれたり、ことあるごとに先輩や後輩からの激励をいただいたり、私本人は違和感なく仕事に溶け込めたものと思ひ込んでいます。

森づくり推進室は、私のほかに30〜40代の若手2人と水産兼務の1人、そして森林組合から職員1人の派遣をいただき、屈強な若者4・5人で額に汗して現場を駆け回り、机で知恵を絞って職務に邁進しています。

それでは、ともに働く職員の方の抱負です。

○4月より森づくり推進室の係長を拝命いたしました。室長を補佐し、室員とともに、市の森林行政の専門部署として林業振興に努めてまいります。

(係長・森山久利) ○農林水産課水産振興係との兼務ではありますが、『大田市の森づくり』が円滑に進むよう、一所懸命取り組んでいく所存です。

(主任主事・菅森暢之) ○4月から初めての林業担当で、林業の奥深さに戸惑うことばかりですが、みなさんに助けていただきながら、お力になれるよう精進して参ります。

(副主任主事・柿本将人) ○森林所有者様から木材産業関係者様まで、「大田市に豊富な森林があつて良かった」と思つて頂けるように頑張つて参ります。

(書記・中間俊彦)

今、大田市の森林は、森林所有者の皆さんによって植えて・育てられる資源が利用できる時期をむかえる

なか、原木価格は依然として長期的に低迷しています。

一方、島根県内の原木需要は旺盛であり、原木自給率が30%と供給が必要に追いつかない状況にあります。

そこで、森づくり推進室では、市内にある市場、製材や住宅建築などの関係者の皆さんと連携し、「伐つて、使つて、植えて・育てる」仕組みを構築し、産業活性化と雇用の維持・創出を図りながら、森林所有者の皆さんへの収益還元に取り組みべく、方向性やビジョンを明確にして活動していくこととしています。

需要に応じて、伐つて、植えれば山は若返り新たな力が湧いてきます。それを目指すためには、柱となる森林・林業・木材産業の各部門で産業が育つことが重要であり、利用者となる市民の皆さんの理解を得ながら成長産業化を目指したいと考えています。

大田市産業振興部森づくり推進室の皆さん



写真左より 柿本将人副主任主事、中間俊彦書記(当組合職員) 室長の山内寛之技監、森山久利係長 菅森暢之主任主事

「ゼロ災」川柳 はじめました

当組合では、今年から日常的に労働安全意識を高める事を目的とした『ゼロ災』川柳の取り組みを始めました。

仕事への心構えや普段の作業の様子を題材とした川柳を全職員対象に2ヶ月毎に募集し、優秀な作品に賞金を授与、年末には年間最優秀作品が選ばれ表彰式が行われます。

毎回、多数の応募があり、うんうんと納得する作品やぶつと笑える作品など様々です。今回は、3回実施した中の最優秀賞をご紹介します。

【二月】

高めよう 安全意識と向上心

【三月】

倒し方 十人十色 木に学ぶ

【五月】

過信する腕や態度が事故を呼ぶ

このほかの優秀賞・佳作 賞や変わりダネ!?はホームページの「森のつばき」コーナーで一部掲載しています!!



組合通信で見える 森林組合あれや！これや！

組合通信は昭和34年に第1号が発刊され今年で第70号の発刊となります。

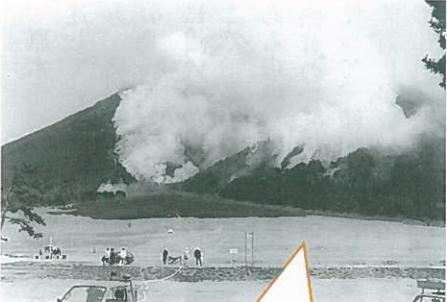
当初は年2〜3回（B5サイズ両面）の発行で編集から印刷まで全て手作りで制作していましたが、昭和51年頃より年1回の発行となり、画像を掲載した様式に変わり、現在に至っています。記事からはもちろんのこと、広報誌の紙質やページ数、写真や色彩（カラー）が時代の流れを物語っていて感慨深く感じられます。今回、発行第70号を記念して組合通信年表で見ると今はなき風景や造林の様子を当組合の『生き字引！』に聞きながら振り返ってみようと思います。

※おことわり：今回は主に旧大田市森林組合（仁摩・温泉津を除く）の情報を掲載しています。

昭和												年月
50	47	46	45	43	42	40				34	32	
2		4	5	10	5	7		10	9	1	9	4
森林法改正を記念し森林組合新生十一年計画策定	第1次林業構造改善事業着手	第22回全国植樹祭	明治改元百年を記念し式典及び大田市林友会共催による記念植樹祭（祖式町）	梶野組合長島根県森林組合連合会会長に就任	梶野組合長島根県森林組合連合会副会長に就任	大田市長友会設立	組合設立10周年記念式典開催	佐比売（三瓶）、大代2組合と合併	第3回森林組合全国大会において全国表彰受賞 梶野組合長代表謝辞	優良森林組合として知事表彰受賞	組合通信第1号発行	大田町森林組合以下（大田・長久・鳥井・久手・波根・朝山・富山・山口・川合・久利・静間）11組合が合併し発足 組合長に梶野正也氏就任



S40年～S50年代頃の森林組合と総代会の写真
大田町相生の旧「割烹いろは」横にあり、現在は賃貸駐車場となっています。
当時は宿直があり、事務所奥には和室、風呂などが完備され、当番はここで一夜を過ごしていました。
また、和室二間を利用して理事会なども開催されていたようです。



S63年4月三瓶山西の原で出火した火事は、約27時間も燃え続け、国有林内の約30年生のカラマツ、スギ、マツ林など94haを焼失しました。



S56年第1回「天領さん」開催
当組合も「林業館」ブースを設け出展いたしました。



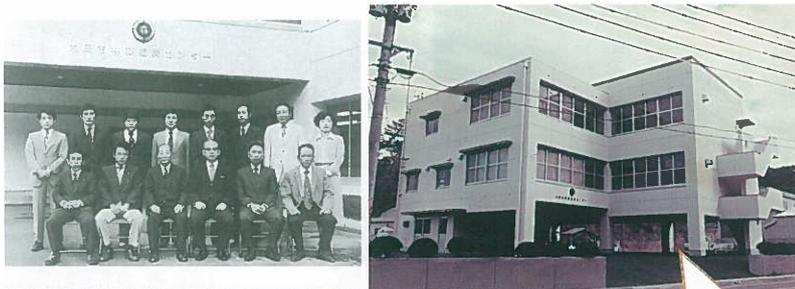
H7年頃の林内作業車での間伐搬出の様子



S56年頃の造林作業路開設工事の様子



平成																																																															
27	25		24	22	21		19		18	16	13	12	10	8	7	6		3	3		63	62		61	56	54	53	52	51																																		
4	5		6	5	10	10	7	11	6	8	5	3			4			10		6	4			5	8	10	10	12		7																																	
大田市に森づくり推進室設置 組合と連携を組む		役員改選により皆田修司組合長就任		造林補助金制度改正に伴い森林経営計画策定事業始まる		役員改選により役員定数変更		第9回間伐競技会優勝(秋森、清水)		第7回間伐競技会優勝(才峠、中山)		石見銀山が世界遺産に登録		組合連合会会長賞		仁摩・温泉津町森林組合と合併		「1人1反運動」開始		大田市間伐材利用作品コンクール開催		役員改選により神谷光夫組合長就任		高性能林業機械を借受けての列状間伐等の利用間伐の実施		中核団地路網整備事業による作業路整備始まる		三瓶こもれびの広場に「木工館」オープン		複層林施業提案		全国育樹祭		「島根県立三瓶自然館」		「三瓶こもれびの広場」オープン		作業路開設推進本格化		役員改選により石田猶三郎組合長就任		27時間燃え続け94ha焼失		三瓶山火災		薬剤間伐講習会開催		新林業構造改善事業着手		役員改選により月森忠正組合長就任		「天領さん」第1回会場で林業館開設		組合事務所現所在地に移転		森林組合法成立		林業振興センター完成		第2次林業構造改善事業着手		組合設立20周年式典総会	



S52年12月全国で建設第1号となった林業振興センターの完成写真です。第2次林業構造改善事業で建設されました。完成時は1Fが駐車場になっています。森林組合事務所はその後S54年に増設され移転いたしました。写真左は移転当時の職員です。

S46年三瓶で行われた全国植樹祭の様子
植樹祭のために山林所有者へ山林の美化を目的とした除伐、枝打ち、または雑木林をマツやスギなどの用材林への切り替えをお願いしていたようです。



S50年頃の川合田圃

S53年当時の温泉津町 櫛島町有林造林の様子

第1次林業構造改善事業で購入した人員輸送車とオートバイ
当時は、地区担当がオートバイで巡回指導をしていました。道路整備が不十分の中、現在では自動車で片道30分程度の距離を1日かけて巡回していたそうです。



H24年作業班体制を現業職員体制へ
給与体系など様々な面で改編された画期的な1年となりました。



H18年仁摩町・温泉津町森林組合との合併式の写真
これで大市内全域の森林組合が一つになりました。来年は合併10周年となります。

昨年10月、現業職員で構成される森風会が企画した「林業祭」の様子
今年も何か新しい企画を考えているようです。お楽しみに！



H17年頃から高性能林業機械を購入し、安全で迅速な作業を行っています。

写真上：H3年三瓶こもれび館がオープンし、三瓶自然館とともに三瓶の新しい顔として注目を浴びました。レストランは披露宴会場としても利用されました。(現在：SANBE BURGER)
その後、H7年木工館がオープン(写真下) 現在も子供から大人まで木工に親しめる施設となっています。

大田市森林組合が誇る特殊伐採

大田市森林組合では皆様の家周り、道路などの危険な樹木の伐採を年間通じて多数させていただいております。その中で、特殊伐採と言われる危険度、難易度の高い作業をご紹介します。

1. まず、最上部を伐採 (クレーンで吊し慎重に降ろす)

2. 続いてクレーンにしっかりとつなぎ次の伐採へ

3. 何回か作業を繰り返し1本の木を伐採します。

THE.吊り降ろし (クレーンで最上部を吊り、何回かに分け切断します)

腰と木を命綱でつなぎ、最上部まで行ったり来たり… チョー危険!!

なんとってここまで登るのが大変なんだわ～

THE.スパイダーマン (地上20mで命綱だけが頼りのここ一番の見せどころ)

枝を落として…

伐倒!

JForest

大田市森林組合

Tel. **0854-82-8500**

我々がチーム特伐です! お任せ下さい!

大田市林友会活動記

大田市林友会活動記

アカメガシワ植栽に新たな挑戦

「林友会とは…森林所有者の皆さんが林業について自主的に研究されるグループです。」

今年度はこれまで取り組んできた①「ヨロイマツの接ぎ木」、②「子供達との森林学習活動」、③「篤林家・事業所訪問」④「施設イベント参加」に加え、新たに⑤「アカメガシワの植栽」にも取り組みました。



①「ヨロイマツの接ぎ木」は過去3年間、しばらく途絶えていた接ぎ木に挑戦してきましたが、殆どが思わしくない結果でした。今年度はこれまでの割接ぎから腹接ぎへと造園業者の指導（二月二十五日）を得て手法を変えてみました。以前に比べ良い結果が出ていますが、個人差があるようです。完成された技術の確立が急がれます。



ヨロイマツ接ぎ木研修

②「森林学習活動」（三月十四日）は志学小学校の子供達に森林の働きについての学習や鳥の巣箱づくり・設置方法を共に学習しました。鳥の生態についてはサヒメルの専門員の方に説明してもらい、作った巣箱は木工館の前庭に数個設置しました。各自の巣箱は自宅の周りや学校の近くに設置しました。子供達は鳥が住み着いてくれるのを楽しみにしています。



鳥の巣箱設置の様子

③「篤林家・事業所訪問」（四月十三日）は、今年度、出雲の須山木材株式会社のある多伎町にある持ち山と白枝町にある製材所の見学でした。須山氏は「出雲の森」プロジェクト

を行い植林・育林・間伐など環境保全に積極的に取り組み、またプレカットシステムを導入した工法で製品の質を高め販路を広く関西方面にまで広げておられ、林業一筋の姿勢に敬服しました。



須山木材(株)プレカット工場

④「七色館祭りへの参加」（六月七日）は木工館と共催で三回目の出展です。昨年に続き「ヨロイマツの啓発」「子供の喜ぶゲーム」「鉛筆立て提供」と新たに「フウランの販売」「木札の提供」を試みました。二十個の根付けフウランは予想以上の好評で完売となりびっくりりでした。



七色館祭りでの出店

「木札の提供」を試みました。二十個の根付けフウランは予想以上の好評で完売となりびっくりりでした。

⑤「アカメガシワの植栽」（十一月下旬）については、昨年度の研修視察のおり県中山間地域研究センターでアカメガシワの話があり、昨年の総会時にその講演をして頂いたのがきっかけでした。抗酸化作用等の健康維持に効果があるというお茶の葉で、今後の需要を見込んだ事業となります。理解を得た大屋町内の数軒の農家が苗を約三百本植えられました。六月二十九日には自生の葉を採り五十kg初出荷されました。さらに、現在数人の栽培希望者があり、新たな挑戦に明るい展望が開けそうです。



アカメガシワの植栽

時代と共に、時には先駆けて、大田市林友会も発展していきたいと意気込んでいます。一緒に林業・里山を楽しんでみませんか？入会をお待ちしています。お問い合わせは大田市森林組合まで。

（大田市林友会会長 和田秀夫）

加入してよかった!



森林保険

- 台風、山火事などの災害による
- 森林の損害に備え、
- 森林保険にご加入ください。

保険金のお支払いの対象となる**8**つの災害

火災 山火事で 受けた損害	風害 暴風による 幹折れ、根返り などの損害	水害 豪雨、洪水による 埋没、水没、 流失などの損害	雪害 大量積雪による 幹折れ、根返り などの損害	干害 乾燥による 枯死などの 損害	凍害 凍結、寒風など による枯死など の損害	潮害 潮風、 潮水浸水など による枯死など の損害	噴火災 火山噴火による 焼失、幹折れ、 埋没、根返り などの損害
----------------------------	--	--	--	-----------------------------------	--	--	---

「森林国営保険」は、
平成27年4月より森林総合研究所が行う
「森林保険」に生まれ変わりました。

お申し込みは簡単!大田市森林組合までお気軽にご相談ください。

組合員のみなさまへ【お知らせ】

相続の手続きはお済みですか?

※組合員さんが死亡された場合は、森林組合へ相続の手続きが必要となります。

また、転居等による住所の変更など組合員資格に異動があった際には、変更の手続きが必要となります。詳しくは当組合総務課までお問い合わせ下さい。

大田市森林組合(総務課) 電話:(0854)82-8500
ホームページからは、<http://www.oda-fc.com>



つくってあそぼう 木工館

子どもから大人まで楽しめる木工体験!!



予約なしいつでも、キーホルダーや
輪ゴム鉄砲、写真立てなど…
約40種類の中から選んで作ることができるよ!

糸のこやボール盤を使って
木を好きな形に切ったり
穴をあけたりして
オリジナル作品をつくってあそぼう♪



子ども会や学級活動、グループなど
団体でもご利用できます!

※団体でご利用の場合、事前にお申込み下さい!

この世にま
いろいろな作品が
作れるよ!
夏休みの宿題も!

- ペンダントキーホルダー 500円
- ペンスタンド 600円
- 階段ラック 小1,000円
- 輪ゴム鉄砲 1,000円
- サイコロカレンダー 1,200円
- 貯金箱 1,200円
- ビー玉ころがし 1,300円
- 本立て 2,000円
- ムービングボード 1,300円

★各教室・イベントも開催していまあ★

- ◆はじめての木工!
作品*写真額*
- ◆炭をつくってみよう
- ◆さんべ祭 10月17日・18日
- ◆チェンソーの砥ぎ方と使い方 11月7日
- ◆島根県技能祭(松江) 11月8日
- ◆ミニかどまつ作り 12月20日
- ◆みつばちの巣箱作り 3月
- ◆椎茸のほだ木作り 3月
- ◆はじめての木工ろくろ!
作品*コースター*
- ◆トールペイント教室

木炭をつくってみませんか!!



木炭にする木を割り、窯につめ火をいれ、窯を開き取り出すまでを体験します!

【日程】6月・12月・3月
年3回予定

炭の販売もしております



2.5kg 540円
5kg 950円
10kg 1,728円

三瓶でのんびりバーベキュー



こもれびの中にある屋根付きのバーベキューハウス。多少の天候不良でも利用可能。1炉を6名様でご利用いただけます。

★全4棟 (1棟に2炉付き)
★使用料 1炉 3,240円
※炭・鉄板・火バサミ・着火剤は料金に含まれます。
★営業期間 3月~11月
★利用時間 11:00~16:00



三瓶こもれびの広場 木工館

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1638-1
TEL (0854) 86-0182

★木工体験は予約無しで利用できます★

【開館時間】9:30~17:00 (体験受付 15:00まで)

【休館日】毎週火曜日 【入館料】無料

<http://www.ginzan-tv.ne.jp/~mokkoku/>

その世のイベント情報や教室の詳細については木工館ホームページまたはブログをご覧ください!

林業祭を開催しました

昨年10月18日に若手現業職員を中心にして企画した森林組合のお祭り『ミニ林業祭』をさんべ祭に合わせて開催しました。当日は天候にも恵まれ、たくさんの方にお越し頂いて、盛大に開催することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



今年もやります林業祭!!

昨年好評を得ました林業祭を今年も10月17日(土)に計画しております。メダカ無料配布や木を使ったゲームなど企画しておりますので、皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。お待ちしております。(^o^)
※詳細は9月以降にホームページ等に掲載しますのでご覧ください。

○来年度は総代さんの改選も実施され、年明けから地区総代会等でお世話になります。すが、よろしくお願ひします。

森呼吸

編集後記

銀の森林通信も5年目を迎えました。毎回差し迫る発行までのスケジュールのなか、プレッシャーにぶされそうになりながら組合員の皆様に、より良い情報発信をするべく作成してまいりましたが、今年も無事に発行することができました。

今年、島根県内2か所のバイオマス発電所の稼働が始まり、いままで活用されなかった林地残材の活用が見込まれます。当組合でも積極的な活用をめざし、組合員の方々への利益還元につながるよう職員一同努力していこうと思っております。また、山林の維持管理についての相談やこの銀の森林通信のご感想やご意見などありましたらお気軽にご連絡いただければと思います。

最後になりますが、今回の発行に当たり、ご協力いただいた皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

(一)